2026年度後期STARTプログラム　コース一覧

別紙1

※2026年10月現在の予定です。プログラム内容は予告なく変更する可能性があります。

	研修先国・地域	プログラム名／ 研修先大学・機関	渡航期間／定員／ 参加費（＊注）	JASSO奨学金	主な研修内容（予定）	宿泊場所	研修先大学・機関の紹介	研修先地域・都市の紹介	単位数
第109回	アメリカ	【大学の世界展開力アメリカ】 「全米最大規模の学生数と最新設備を誇る大学で学ぶイノベーションとサステナビリティ」／アリゾナ州立大学	2/21（日）～ 3/5（金） 定員：25名 参加費：38万円	対象者： 11万円支給	◆アリゾナ州立大学の教員による講義 ◆学内最新施設の見学（メインキャンパス：Dreamscape、School of Earth and Space Exploration 等） ◆Heard Museumの見学（先住民のアート、生活等） ◆現地学生との交流 ◆グランドキャニオン・セドナへの1泊2日旅行	大学近くのホテルを予定（1室2名）	【アリゾナ州立大学】 アリゾナ州立大学 (ASU) は年間在籍者数約20万人（学部生が約16万人、大学院・専門職課程が約4.5万人）。オンライン教育の規模が非常に大きく、ASU Onlineだけでも年間約12万人が在籍。全米でも最大規模の州立大学。州内には4つのキャンパスがあり、メインキャンパスは人口約50万人の大学街メサ市にある。イノベーションにおいて、12年連続で全米ナンバーワンにランクされているほか、様々な大学ランキングにおいて幅広い分野で上位にランクイン。各種スポーツも盛んで、大学チームのニックネームはSun Devils。	【アリゾナ州】 アメリカ合衆国の南西部に位置する州。1912年2月14日に48番目の州として加入。州都および最大の都市はフェニックス。アリゾナ州は広大な砂漠地帯が特徴で、年間を通して晴天の日が多い。特に夏は非常に暑くなるが、北部の高地や山岳地帯では冬に雪が降ることもある。世界的に有名な観光地グランドキャニオン国立公園がある。伝統的に銅と綿花の生産が盛ん。近年ではハイテク産業の一大拠点。フェニックスやツーソンなどの都市では、半導体、通信、IT、航空宇宙、バイオサイエンスなどの産業が発展している。人口は約715万人で、アメリカ合衆国の内陸州としては最大規模。多くの国立の森、公園、保護地域があり、ナバホ族、ホピ族、アパッチ族などの先住民族が暮らしている。	2
第110回	リトアニア	「リトアニアの歴史とアイデンティティから探る欧州の過去・現在・未来」／ヴィータウタス・マグヌス大学	3/ 7（日）～ 3/20（土） 定員：20名 参加費：38万	対象者： 9万円支給	◆リトアニアにおけるユダヤ人の歴史学習 ◆初級リトアニア語講座 ◆日本とリトアニアの異文化コミュニケーションの特徴比較 ◆カウナス周辺地域の施設見学（野外博物館、第九要塞、カウナス市役所、修道院） ◆トラカイ城及びリトアニアの首都ヴィリニュスでの1泊2日研修 ◆杉原千畝記念館見学 ◆在リトアニア日本国大使館の訪問	後日決定（ホテル、ゲストハウスを予定：1室2名）	【ヴィータウタス・マグヌス大学】 ヴィータウタス・マグヌス大学（Vytautas Magnus University）は、リトアニア共和国のカウナス市に位置する公立大学です。1922年に設立され、リトアニアで最も歴史ある大学の一つです。幅広い学術分野において学士、修士、博士の学位プログラムを提供しています。学部や研究所には、人文科学、社会科学、自然科学、技術、医学、芸術などの多岐にわたる学問領域があります。大学の教育体制は高い品質と国際的な評価を得ており、多くの学生や研究者が国内外から集まっています。国際交流や留学プログラムも充実しており、異文化間の理解や国際的な視野を育む環境が提供されています。	【カウナス市】 カウナス市（Kaunas）は、リトアニア共和国の中部に位置する同国で2番目に大きな都市です。リトアニアの首都であるヴィリニュスに次ぐ経済的、文化的な中心地として知られています。また、リトアニアの歴史的な都市であり、古くから商業や工業の中心地として栄えてきました。市内には多くの歴史的な建造物や文化遺産があり、中心部には美しい旧市街（Old Town）が広がっています。旧市街には中世の城やカトリック教会、バロック様式の建物などがあり、観光客に人気のスポットです。	1
第111回	カンボジア・タイ	「東南アジアの最前線で学ぶ農業と平和」 ／カンボジア地雷対策センター（カンボジア）、カンボジア工科大学（カンボジア）、カセサート大学（タイ）	2/15(月)～3/5(金) 定員：10人 参加費：26万円	対象者： 9万円支給	（カンボジア） ◆主要機関の訪問（JICA事務所、日本大使館、現地大学等） ◆歴史・平和関連施設の視察（虐殺博物館、平和資料館、歴史的メモリアル等） ◆地雷対策専門機関（CMAC）の施設および実際の地雷原の視察 ◆歴史遺産・商業施設の訪問（アンコールワット等） （タイ） ◆農村部・マイノリティ地域の訪問 ◆持続的な農業、フードセキュリティに関する講義 ◆クディチン地区の訪問（多文化共生が見られる歴史的なコミュニティ） ◆ワット・アルン（暁の寺）等の見学 ＊郊外学習が多いプログラムになる予定です。 ☆カセサート大学の学生がサポーターとして参加の予定です。 ☆北京師範大学、長春大学、ハサスディン大学の学生もプログラムに参加の予定です。	後日決定（ホテル、ゲストハウスを予定：1室2名）	【カンボジア地雷対策センター（CMAC）】 カンボジア地雷対策センター（Cambodian Mine Action Centre: CMAC）は、1992年に設立されたカンボジアの政府系地雷対策機関。長年の内戦によって国内に残された地雷や不発弾の撤去・処理をはじめ、地域住民への安全教育や被害者支援などを総合的に実施しています。首都プノンペンの本部をはじめ国内各地に事業拠点を有し、これまでに広大な土地の安全を回復させ、復興と地域開発に大きく貢献してきました。現在では、JICAなどの国際機関と連携し、他国の地雷対策を支援する人材育成の国際拠点としての役割も果たしています。 【カンボジア工科大学（ITC）】 カンボジア工科大学（Institute of Technology of Cambodia: ITC）は、1964年に創立されたカンボジアを代表する国立工科大学。同国における工学・技術教育の最高峰であり、産業や技術開発を支える高度人材の育成を担っています。土木工学や電気工学、情報通信技術などの多岐にわたる専門学科を備え、首都プノンペンのキャンパスで多くの学生が学んでいます。フランスを中心とした国際協力の歴史が長く、実践的な実験・研究環境や企業連携を通じたイノベーション創出にも力を入れています。 【カセサート大学】	【プノンペン市】 人口200万人を超えるカンボジア王国の首都、都市圏人口は230万人を超えます。カンボジアの王宮や政治・行政の中枢機関が集中しているだけでなく、金融や文化の中心地であり、近年の急速な経済成長に伴い高層ビルや商業施設の開発が進む東南アジア有数の注目都市でもあります。プノンペンは熱帯に位置し、年間を通じて最高気温は32℃～35℃前後、最低気温は22度～25度。11月から2月のやや涼しく過ごしやすい乾季で、気候も安定していますが、3月から5月にかけては雨が少なく朝から気温が上昇し、夜間も気温が下がらない暑季となります。 【シェムリアップ市】 人口25万人を超えるカンボジア北西部の主要都市。都市圏人口は30万人を超えます。世界遺産であるアンコール・ワットをはじめとする巨大な遺跡群への玄関口であるだけでなく、交通や宿泊施設の整ったシェムリアップは、カンボジア最大の観光拠点であり、世界中から多くの旅行者が訪れる東南アジア屈指の国際観光都市でもあります。シェムリアップは熱帯に位置し、年間を通じて最高気温は30℃～35℃前後、最低気温は20度～24度。11月から2月の爽やかで観光に適した乾季で、気候も安定していますが、3月から5月にかけては雨が少なく朝から気温が上昇し、日差しが非常に強い暑季となります。 【バンコク市】 人口800万人を超えるタイ王国の首都、都市圏人口は1600万人を超えます。タイの王宮や政治の中	2
第112回	中国・香港	「世界最先端のイノベーション都市・深圳で体感する先端テクノロジー」／深圳大学	3/7（日） ～ 3/17（水） 定員：10人 参加費：21万円	対象者： 8万円支給	◆スマートシティ、都市環境、地域共生に関する講義 ◆中国語講座 ◆中国伝統文化体験 ◆深圳市文化民族博物館の見学 ◆深圳古城の見学 ◆企業見学 ◆2泊3日の香港観光	後日決定（ホテル予定：1室2名）	【深圳大学】 深圳大学は 1983 年の設立以来、深圳経済特区とともに急速成長し、現在では中国有数の総合大学です。大学は南山区を中心に複数のキャンパスをもち、敷地面積は約 2.72 平方キロメートル。文理融合の教育体制、国家・省級の研究拠点、最先端の実験設備、豊富な電子図書館リソースなどが整備されています。理工系分野に強みを持つだけでなく、起業支援や産学連携にも力を入れており、学生には学問と実践を横断する学びの機会が豊富に提供されます。	【深圳市】 中国広東省南部に位置し、香港に隣接する深圳は、1980年に中国初の経済特区（SEZ）に指定されて以来、漁村から世界的都市へと飛躍的に発展してきました。人口は1,700万人を超え、経済規模・技術力ともに中国のトップ都市の一つに数えられています。高度なインフラ、洗練された都市空間、高層ビルと緑地が混在する市街地、そして公共交通網の整備などが進んでおり、快適で近代的な都市生活が実現されています。技術・起業・金融を主要産業とし、Huawei・Tencent・DJIなどグローバル企業が拠点を置く「中国のシリコンバレー」としての顔も持っています。 【香港】 人口740万人を超える中華人民共和国の特別行政区。都市圏人口は740万人を超えます。アジアの金融や国際貿易、物流の中枢機関が集中しているだけでなく、超高層ビルが立ち並ぶ都市景観や国際色豊かな文化を誇る香港は、世界的な経済・交通のハブであり、世界中から多くのビジネス客や観	1
第113回	スウェーデン	「スウェーデンの都市再生とマルメに学ぶ持続可能な未来社会のデザイン」／マルメ大学	3/14（日）～3/26（金） 定員：20名 参加費：34万円	対象者： 9万円支給	◆スウェーデン文化に関する講義 ◆スウェーデン語講座 ◆都市再生や持続可能な社会構築に関する講義 ◆グリミングフース等訪問 ◆現地学生との交流	大学近くのホテルを予定（1室2名）	【マルメ大学】 マルメ大学（Malmö University / Malmö universitet）は、1998年に創立（2018年に総合大学へ昇格）されたスウェーデン第3の都市マルメに位置する国立大学。多様性と社会課題の解決を重視する若く革新的な大学であり、約24,000人以上の学生が学んでいます。教育・社会学部、文化・社会学部、技術・社会学部、健康・社会学部、歯学部の5つの学部を擁し、持続可能性、都市研究、国際関係・移民問題、新メディア、歯科学などの分野で多角的な教育・研究を展開しています。マルメ中央駅周辺や大学病院敷地内などに最新設備を備えたキャンパスを配置し、地域社会や外部機関との緊密な連携による実践的なプロジェクト型学習や多様性を尊重した国際的な教育環境に定評があります。	【マルメ市】 人口35万人を超えるスウェーデン王国第3の都市。都市圏人口は75万人を超えます。オーレスン海峡を挟んでデンマークの首都コペンハーゲンとオーレスン・ブリッジで結ばれているだけでなく、かつての重工業都市から環境調和型のスマートシティや持続可能なイノベーションの街へと変貌を遂げたマルメは、北欧屈指の多様性豊かな国際都市でもあります。マルメは西岸海洋性気候に位置し、年間を通じて最高気温は3℃～23℃前後、最低気温は-2度～13度。6月から8月の爽やかで日照時間が長く非常に過ごしやすい夏で、気候も安定していますが、11月から3月にかけては日照時間が短く風が強まり、冷え込みが厳しくなる冬となります。	1

（＊注）参加費には国内交通費を含みません。参加費のほかに，自己負担費用として，海外旅行保険料（大学指定のものに加入必須），パスポート申請費，査証手配代，現地交通費，お小遣い（食費含む）などがかかります。